



埋文だより

第34号

平成16年3月17日発行

梶城跡で現地説明会を開催

梶城跡は平成12年度から発掘調査が継続して行われており、この埋文だよりでもたびたび紹介してきましたが、本年度ですべての調査を終了します。そして、来年には南九州西回り自動車道の串木野インター（仮称）になります。そこで、当センターでは2月7日（土）に現地説明会を開催しました。当日は国土交通省鹿児島国道事務所が主催する古代体験学習もあり、小学生を中心に古代のロマンを満喫していました。



現地説明会のようす



石切場（ノミを使ったあとがあります）

鹿児島県初！石切場跡を発見

今回の梶城跡現地説明会では、およそ500～200年前頃に利用されていたと思われる石切場跡を中心に説明を行いました。石切場とは、石造物や土木建築用材などに利用する石材を石の層から切り出す場所のことです。

梶城跡には青みがかった比較的やわらかい石（凝灰岩）の層が広がっていますが、今年度の調査によって、この岩盤に縦や斜めの方向にいくつもの線状の筋が入っている場所があることがわかりました。これはクサビやノミを使って石を切り出した跡だと考えられます。また、岩盤をくりぬいた跡も見つかりました。さらに、周辺には、凝灰岩の破片が大量に散在していました。周辺の遺物の出土状況から判断すると、ここから切り出した石は五輪塔や墓石、石垣などを作るのに利用されたと考えられます。

石切場の周辺では鍛冶場の跡も見つかっており、石を切り出したり、加工したりするためのクサビやノミなどの道具を製作したり修理したりする場所であったと考えられます。

石切場跡の発掘調査は鹿児島県内では初めての事例で、貴重な資料といえます。

鹿児島県立埋蔵文化財センターの見学は、土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、入館料は無料です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

埋蔵文化財センターホームページ：<http://www.jomon-no-mori.jp>

目次

- ・梶城跡で現地説明会を開催 … 1
- ・九州新幹線開通記念「新幹線と遺跡」 … 2, 3
- ・センターの行事紹介 … 4
- ・平成15年度発掘・整理・報告書作成遺跡一覧 … 5
- ・「新発見！2004速報展」開催中！ … 6
- ・施設紹介「総務課」 … 6

九州新幹線開通記念

新幹線と遺跡



平成16年3月13日。九州新幹線の第1期開業として新八代駅～鹿児島中央駅間が開通しました。当センターでは、新幹線の線路や沿線施設を建設するのに先だって埋蔵文化財の発掘調査を行ってきました。

調査の期間は平成5年度から平成12年度までの間で、調査した遺跡は18か所にもなります。調査の結果、旧石器時代から近世までのさまざまな生活の跡(遺構)や道具(遺物)が発見されました。その発見の一部を貴重な資料と共に振り返ってみたいと思います。

大坪遺跡 出水市美原町

遺跡は新幹線保守基地等の建設予定地から発見されました。標高7mの低地にあり、縄文時代晩期(およそ3,000年前)・奈良時代(1,200年前)・鎌倉時代初期(800年前)を主体とする遺跡です。縄文時代には再生を祈ったと考えられる埋設土器37基や緑色の石材を利用した勾玉や管玉などが多数出土し、弥生時代を迎える直前の暮らしぶりがうかがえます。また、鎌倉時代には東西南北に合わせて110m四方の土地区画(条里型地割)があったことがわかりました。

大坪遺跡出土の玉類



京田遺跡 川内市中郷町

遺跡は標高5mほどの湿地に立地しています。発掘調査では、弥生時代から平安時代にかけての水田跡や木製の農具などが発見されました。遺跡周辺は台地の麓から湧き出る地下水を利用して水田が作られていたのです。それだけでなく、県内で初めて平安時代の木簡がみつかりました。

木簡とは、当時の人々が木の札などに墨で字を書いたものです。水田跡や木製の農具、木簡の発見は鹿児島県の歴史を知るのにとっても重要なものとなりました。



京田遺跡出土の木製品(弥生時代)



※次回、上野原縄文の森企画展(4月下旬～7月中旬)は九州新幹線鹿児島ルート建設に伴う発掘調査関係の企画展を予定しております。

大島遺跡



大島遺跡出土の緑釉陶器

川内市東大小路町

遺跡は標高約5mの川内川下流域の自然堤防上に位置し、縄文時代晩期から近世にかけての多くの遺構、遺物が発見されました。特に奈良時代から平安時代にかけての遺物が多く、土師器、須恵器の他に国分寺瓦も多量に出土しました。また、特殊な遺物として風字形の二面硯、転用硯(すずり)、青銅製の鈴、帯金具(石製の丸柄)、緑釉陶器などが出土しました。二面硯などの貴重な遺物の出土や遺跡の位置から考えて、国府・薩摩国分寺との強い関連性が予想される遺跡です。



山ノ脇遺跡 伊集院町郡

遺跡は神ノ川沿いの標高約90mの丘陵に位置しています。今から約800~500年前の掘立柱建物跡が10棟あり、その建て方や大きさから、この地域を支配した人達が建替えながら住んだ跡と考えられます。また、使った物を一緒に埋めておまつりをした大変珍しい跡もみつかりました。さらに中国南部で作られた青磁や白磁などの磁器や、国内で作られた陶器や須恵器が出土し、当時の行き来が盛んであった様子がわかります。



山ノ脇遺跡検出の中世の遺構

上ノ平遺跡 伊集院町下神殿

遺跡は標高約150mの丘陵の南側斜面にあり、旧石器時代後半から近世まで人々がしばしば住んでいたことがわかりました。特に、今から約3800年前の縄文時代後期前半には、頻繁に竪穴住居跡や調理場である集石遺構がつけられました。また煮炊きや盛りつける土器、狩りや調理・加工をする石器や石器を作るための道具、浮きと考えられる軽石など多くの遺物がみつかりました。

武遺跡 鹿児島市武

遺跡は新幹線鹿児島中央駅(当時西鹿児島駅)の建設予定地で発見され、沖積作用によってつくられた標高約6mの微高地に立地しています。調査では古墳時代の竪穴住居跡23基、溝4条のほか多量の土器が発見され、当時の集落の様子がわかりました。また、その下の層からは縄文土器とともに、ヒスイに類似した石に孔を開けた大珠と呼ばれる遺物も発見されました。



鹿児島中央駅(下)と武遺跡



上ノ平遺跡出土の土器(縄文時代後期)

センターの行事紹介

「技術研修講座」開催

1月29・30日、県内市町村の埋蔵文化財担当職員を対象とした技術研修講座が開催されました。

今年度は「埋蔵文化財の保存・活用の現在」をテーマに、製鉄関連遺構・遺物の調査、整理方法に関する講義や実習が行われました。近年、鹿児島県では製鉄に関連する遺構・遺物の発見が相次いでおり、製鉄関連遺跡の調査の効率化と資質向上の必要性が高まっています。1日目は、広島大学の河瀬正利教授より、製鉄と鍛冶に関する



講義を受けたあと、実際に鉄滓の処理・分類作業を行い、新しい調査や分析、保存の方法を学びました。2日目には、近年調査された製鉄関連遺構の事例報告があり、発掘現場での調査方法に関する情報交換が行われました。

県内各地の遺跡で鉄に関する遺構・遺物は多く発見されています。この講座で学んだことを活かして、鹿児島県における製鉄の歴史がより一層解明されていくことが期待されます。



大切な文化財を守ろう

1月26日、埋蔵文化財センターと上野原縄文の森で防火防災訓練が行われました。

昭和24年1月26日、1300年もの間、守り伝えられた法隆寺の金堂壁画が火災に遭い、大きな被害を受けました。このことを教訓にして貴重な文化財を守ろうと文化財防火デーが制定されました。

毎年この日には、日本各地の寺院、博物館などで防火防災訓練が行われています。

上野原遺跡での訓練では、国分地区消防組合中央消防署職員の指導のもと、当センターや上野原縄文の森の職員など約200人が参加し、復元された竪穴住居から出火したとの想定で、見学者の避難やバケツリレーによる消火訓練が行われました。参加者は、日頃から自主防災の意識を高めておくことの必要性を改めて確認し、真剣に訓練に取り組んでいました。

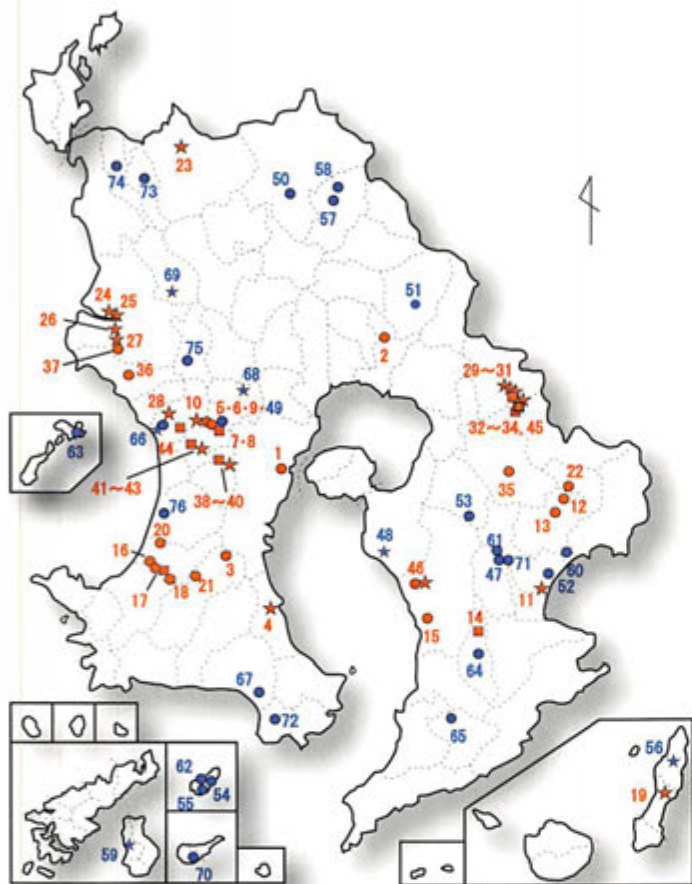
—防火防災訓練実施—



バケツリレーによる消火訓練

平成15年度発掘・整理・報告書作成遺跡一覧

今年度、発掘調査・整理作業・報告書作成を行った遺跡です。市町村支援を含めて45遺跡の発掘調査、12遺跡の整理作業、24遺跡の報告書作成を行いました。



○ 発掘調査
□ 整理作業
★ 報告書作成
赤色：国・県事業 黄色：市町村事業

公園関係			
遺跡名	調査要因	時代	
23 大坪遺跡	九州新幹線	縄文・古代・中世	
24 京田遺跡		弥生・古代・中世	
25 大島遺跡		縄文・中世	
26 上野城跡		旧石器～中世	
27 大原野遺跡		旧石器・縄文	
28 上ノ平遺跡	旧石器・縄文・中世	東九州自動車道建設	
29 高篠遺跡	縄文・古代		
30 九義岡遺跡	旧石器・縄文・古代		
31 西場遺跡	縄文・古代・中世		
32 耳取遺跡	旧石器・縄文・古代		
33 桐木遺跡	旧石器・縄文・古代		
34 桐木B遺跡	旧石器・縄文・古代		
35 定段・稲村遺跡(1月～3月)	縄文		

※ 表中の () は発掘調査の期間です。

県事業関係			
遺跡名	調査要因	時代	
1 鹿児島城二ノ丸跡(9月)	博物館施設整備事業	近世	
2 東免遺跡ほか	鹿児島島空防地建設	縄文・古代	
3 鳴野原遺跡ほか(2月)	県道鹿児島川辺線改良	縄文	
4 東郷坂A遺跡	県道知覧町入線改良	旧石器	
5 仁田尾中A遺跡(9月～10月)	県道小山田谷山線改良	旧石器	
6 仁田尾中B遺跡(7月～9月)	県道小山田谷山線改良	旧石器	
7 伊福遺跡(5月～7月)	県道小山田谷山線改良	旧石器	
8 仁田尾遺跡(5月～7月)	県道小山田谷山線改良	旧石器・縄文	
9 御飯屋跡遺跡(5月～7月)	県道小山田谷山線改良	旧石器・縄文	
10 横井竹ノ山遺跡	県道小山田谷山線改良	旧石器・縄文	
11 後迫遺跡	国道488号線改良	中世・近世	
12 松ヶ尾遺跡(11月)	県道新野山郡城線改良	縄文	
13 谷ヶ迫遺跡(8月～10月)	県道新野山郡城線改良	縄文	
14 中尾遺跡	神野新野野平線改良	古墳	
15 野里小西遺跡(12月～3月)	国道209号バイパス建設	縄文	
16 渡畑遺跡(6月～3月)	万之瀬川改修	縄文・中世	
17 芝原遺跡(5月～8月)	万之瀬川改修	縄文・中世	
18 上水流遺跡(8月～3月)	万之瀬川改修	縄文・中世	
19 三角山遺跡	新種子島空港建設	縄文	
20 農閑地センター遺跡群(5月～3月)	農業閑地総合センター建設	旧石器～中世	
21 南田代遺跡(5月)、古市遺跡(10月～11月)	万之瀬川改修	縄文・古代	
22 萩野日遺跡(12月～2月)	県道新野山郡城線改良	縄文	

市町村関係			
遺跡名	調査要因	時代	
47 益畑遺跡(4月～10月)	農用地総合整備	縄文～古墳	
48 株原貝塚	保存目的	縄文	
49 御飯屋跡遺跡(5月～7月)	個人土地下り	旧石器	
50 関白陣跡(7月～9月)	保存目的	中世	
51 宇都口遺跡(11月)	中山間地域総合整備事業	縄文・近世	
52 西ノ丸遺跡(9月)	県民はら整備事業	弥生・古墳	
53 新田遺跡(5月～12月)	県民はら整備事業	縄文・古代・中世	
54 平田口遺跡ほか(2月)	畑地帯総合整備事業	中世	
55 山田中西遺跡(5月～8月)	畑地帯総合整備事業	中世	
56 鬼ヶ野遺跡	畑地帯総合整備事業	縄文	
57 北山遺跡ほか(5月)	県民はら整備(伊佐地区)	縄文・中世	
58 薬師原遺跡(1月)	県民はら整備(伊佐地区)	古代	
59 下原遺跡	県民はら整備(伊佐地区)	縄文	
60 穴倉B・牧遺跡	農用地総合整備	縄文	
61 細山田段遺跡(9月～2月)	農用地総合整備	縄文～古墳	
62 見付山遺跡(2月)	庁舎建設	中世	
63 中町馬場遺跡(5月～6月)	下水道整備	弥生	
64 名主原遺跡(8月～2月)	県道鹿野野平化多線改良	弥生・古墳	
65 大根田遺跡(10月)	国道488号線改良	弥生	
66 古城遺跡(7月～8月)	県道江口長里線改良	古墳・古代	
67 国姓城跡(11月～12月)	保存整備事業	中世	
68 油領木城跡	保存目的	中世	
69 鶴ヶ岡城跡	保存目的	中世	
70 住吉貝塚(8月～11月)	保存目的	縄文	
71 下畑遺跡(5月～7月)	農用地総合整備	縄文～古墳	
72 塚山東遺跡ほか(1月)	はら整備	古代	
73 柴引A遺跡(1月～3月)	農村振興総合整備	縄文	
74 野田高遺跡(11月)	農村振興総合整備	中世	
75 小森遺跡(9月～10月)	中山間地域総合整備事業	縄文・古代	
76 大園A遺跡(10月)	県民はら整備整備事業	弥生・古墳	

国関係			
遺跡名	調査要因	時代	
36 榑城跡(7月～3月)	南九州西回り自動車道	縄文・古代～近世	
37 霜月田遺跡(6月～2月)	川内道路建設	縄文・古代～中世	
38 宮尾遺跡		旧石器～中世	
39 前山遺跡		旧石器・縄文	
40 フミカキ遺跡		縄文・弥生・古墳	
41 永迫平遺跡	南九州西回り自動車道	旧石器・縄文	
42 下木迫A遺跡	鹿児島道路建設	縄文・古代	
43 大田城跡		旧石器・縄文	
44 堂平遺跡		近世	
45 桐木遺跡	国道10号末古IC建設	旧石器～中世	
46 根木原遺跡(11月～1月)	国道209号バイパス建設	旧石器・縄文・古墳	

展示紹介

上野原縄文の森 第7回特別企画展
「鹿児島県立埋蔵文化財センター
新発見!2004速報展」開催中!



展示のようす

本紙5面で紹介したように本年度、当センターでは多くの発掘調査・整理作業・報告書作成・市町村支援などを行ってきました。本年度の発掘調査で出土した遺物や、整理作業によって復元された土器、分類された石器など、一年間の調査成果を集めた特別企画展「新発見!2004速報展」を4月中旬までの予定で上野原縄文の森展示館の特別展示室で開催しています。桐木遺跡で出土した縄文時代早期の壺形土器や曲迫遺跡で出土した平安時代の移動式カマド、1面で紹介した柵城跡の「石切場」を再現した展示など、出土したばかりの貴重な資料が数多く展示してあります。多くの方々の来館を心よりお待ちしております。

施設紹介

総務課



総務課

当センターの玄関ロビーを入ってすぐ左側にある部屋が総務課です。今年度も国、道路公団・鉄道建設公団などの大型事業や、県・市町村関係の多くの発掘調査・整理作業を行ってきました。総務課はこれらに係わる経費を適切に管理・執行し、発掘調査・報告書作成などがスムーズに運営されるように支えています。

また、見学者数の統計を取っておりますので、見学の方は総務課窓口にて備え付けの見学者名簿に記入の上、順路に従ってご見学ください。なお、年度末、年度初め及び月末については業務内容の一部を見学できませんので、あらかじめお詫び申し上げます。不明な点等につきましては、近くの職員にお尋ねください。

平成15年度は1万人を超える方々が来所し、センター内の施設や業務内容を見学されました。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

埋文だより 第34号

発行日 平成16年3月17日
編集・発行
鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒899-4461
鹿児島県国分市上之段1175番地1
TEL 0995-48-5811
FAX 0995-48-5820
E-mail: maibun@jomon-no-mori.jp